

星のたより

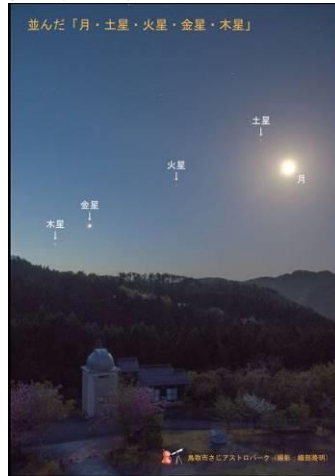
2022(令和4)年
10月号
Vol. 337

期間展示が変わりました

～星の写真の楽しみいろいろ～

佐治天文台の1階ロビーの期間展示が新しくなりました。さじアストロパークの専門職員5名が撮影した星の写真を、解説付きで展示します。撮影機材やデータも記載していますので、撮影の際の参考になれば幸いです。

また、2階ロビーの展示も新しくなりました。タイトルは「スマホで切り取る星空の世界」。最近性能がよくなったスマホで撮影した星空を、メッセージ付きで展示しています。



☆今月の豆知識☆
①パーセクって知ってる？ 星までの距離をあらわす言葉(単位)の1つなんだけど、星までの距離だと「光年」が有名だよ。パーセクは、地球が太陽の周りを回っている通り道(公転軌道)をもとにしているんだよ。地球の公転軌道を使った視差(見え方のずれ)を使うなんて、すごいアイデアだよ。



新型コロナウイルス感染拡大防止のお願い

～ご協力をお願いします～

さじアストロパークをご利用の際は、以下の項目にご理解の上ご利用いただきますよう、よろしくお願い致します。開館状況などの最新の情報は、さじアストロパーク公式ホームページ等でご確認ください。

- ◎風邪症状のある方の利用は控えてください。
- ◎入館時、受付で体温の測定をさせていただきます。37.5℃以上の方は、ご利用をお断りすることがありますのでご了承ください。
- ◎館内展示の見学は、お客様同士の間隔を十分に開けて、密集状態とならないよう配慮してください。
- ◎利用者の皆様は、必要に応じマスクの着用や消毒液での手洗いにより、感染拡大防止に努めてください。

安心して利用してもらえるように、換気設備を増設して開館中だよ。



イベント★耳より情報

☆新型コロナウイルスの影響で変更となる場合があります。公式ホームページで最新情報をご確認ください

☆期間展示☆ 「アストロ宇宙写真展」9月22日(木)～12月11日(日)
専門職員が撮影した天体写真を解説付きで展示します。

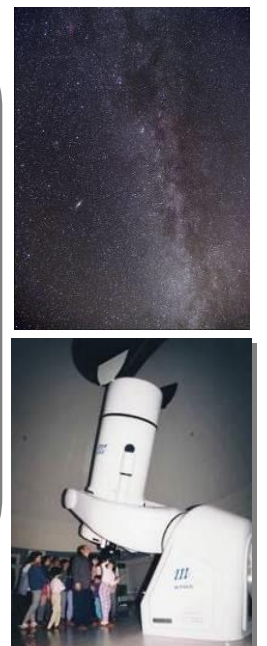
☆プラネタリウム☆ 第1部 専門職員によるライブトーク
第2部 スペースコロニー 9月22日(木)～12月18日(日)

☆夜間観望会☆ ☆10月のテーマとおすすめ情報

はくちょう座の二重星アルビレオ	1(土)
月、木星、土星	7(金)～9(日)
球状星団 M15	14(金)、15(土)
満天の星とアンドロメダ銀河	21(金)、22(土)、28(金)、29(土)
観望会で満天の星が楽しめる	1(土)、13(木)～16(日)、19(水)～23(日)、25(火)～30(日)
観望会で月がよく見える	2(日)、4(火)～9(日)

☆10月の休館日 3(月)、11(火)、12(水)、17(月)、18(火)、24(月)、31(月)

※イベントの詳細やその他の情報はさじアストロパークのホームページなどを参考にしてください。



プラネタリウム & 天体観察会

～「星取県」で昼も夜も星空満喫～

定員25名で実施中

1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

さじアストロパークのプラネタリウムは、前半が専門職員による生解説、後半は、テーマ番組を投影しています。観覧の際は、引き続き感染防止にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

2. テーマ番組「スペースコロニー」9月22日から投影がスタート

9月22日(木)から秋のテーマ番組「スペースコロニー」が始まりました。

定員25名、要予約で実施中

2. 103cm大型望遠鏡で夜間観望会(天体観察会)

103cm大型望遠鏡を使った「夜間観望会」は、現在、曜日に関係なく予約制でおこなっています。新型コロナウイルス感染防止対策として、①定員を25名 ②事前予約 ③マスク着用 ④緊急連絡先の提出 をお願いしていますのでご了承ください。感染防止につきましてはこれまで通りご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。個人の方(お一人からご予約できます)はご利用日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は1カ月前までにご予約の上ご利用ください。



10月の注目天体情報

☆見ごろの星座：ペガサス座

＝ペガサスの四辺形・秋の四辺形＝

これからは秋の星座のシーズンです。ただ、秋の星座の星には明るい星がありません。そんな秋の星座を探す目印となるのが「秋の四辺形」です。空を飛ぶ天馬ペガサスのちょうど胴体にあたる星たちで「ペガサスの四辺形」とも呼ばれます。

☆木星と土星

9月頃から東の空に、マイナス2等級の明るくてとても目立つ星が見えてきました。太陽系最大の惑星「木星」です。10月は南東の空でさらに見つけやすくなっています。いっぽう「土星」はというと木星よりも西側で10月は南の空に見えています。「木星」も「土星」も太陽の周りをまわっている惑星で星座の星ではありません。毎年惑星のいる星座は移りかわり、「木星」は「うお座」、「土星」は昨年と同じ「やぎ座」にいます。明るい星の少ない秋の星座の中で木星と土星は目立ちます。

この2つの惑星は今が望遠鏡で観察する絶好機です。木星の縞模様や木星をまわる4大衛星、土星の輪は、望遠鏡を使って観察してみてください。



ペガサス座と木星と土星



木星



土星

☆テレビ観望システム

4月から10月までは毎週金・土の観察会で運用します。103cm大型望遠鏡で天体を直接観察することに加え、リアルタイムにモニターに映し出される天体映像を、専門職員の解説付きで観賞していただけます。このシステムは、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(令和2年度)を活用して整備されました。

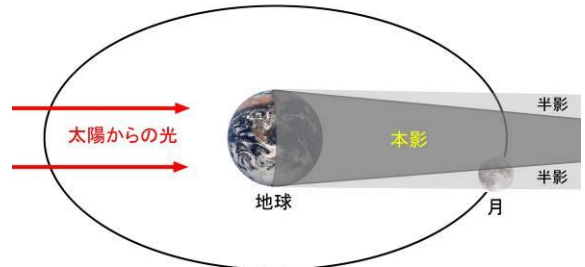
皆既月食 その1

～ 約1年半ぶりの皆既月食 ～

2021年5月26日以来の皆既月食です。今回は皆既中に天王星が月に隠される「天王星食」が起こります。月食・天王星食について、今月号、来月号と2回にわたり紹介します。

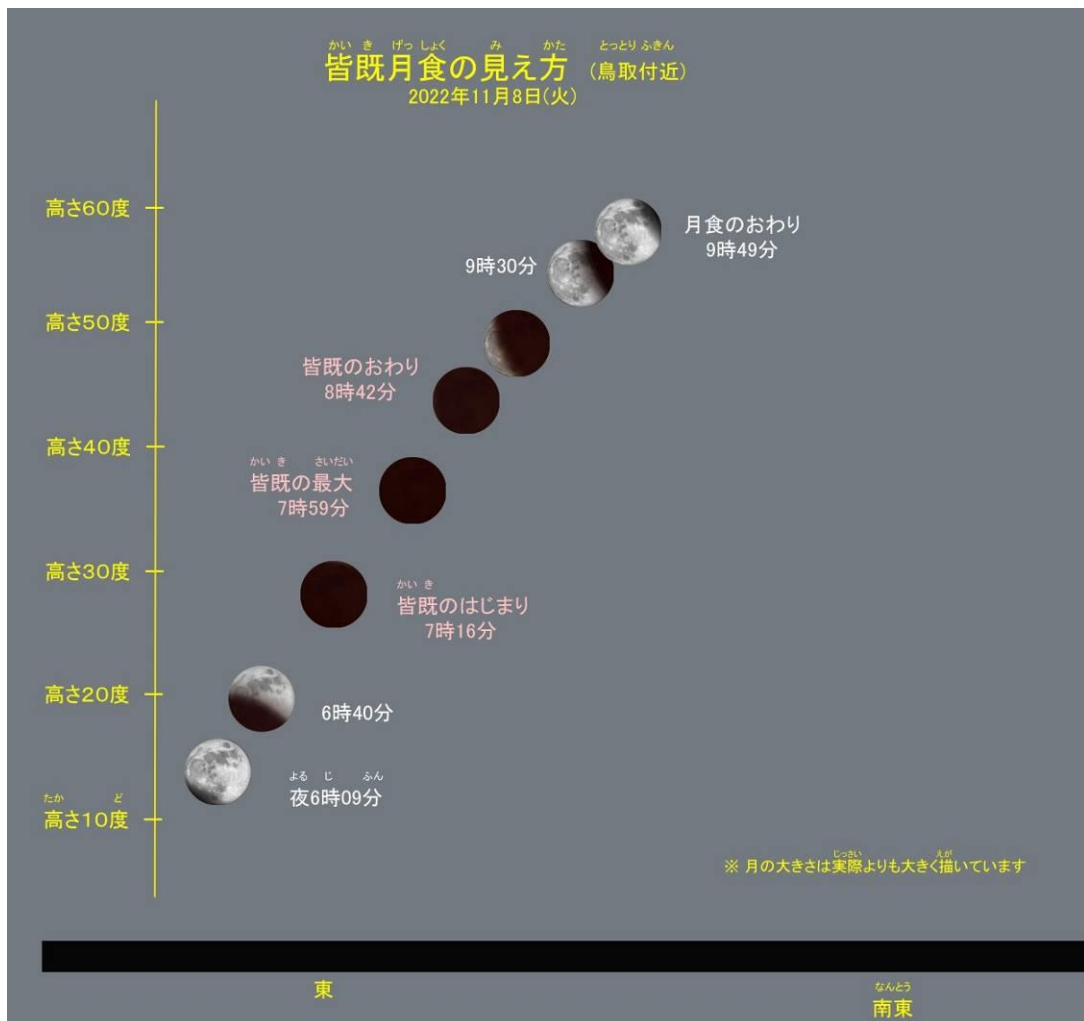
月食の仕組み

月食は、満月が地球の影に入る現象です。(右の図)
月食には3種類あります。地球の本影に月全体が入る「皆既月食」、地球の本影に月の一部が入る「部分月食」、地球のごく淡い半影部分の中を月が通過するだけのものを「半影月食」といいます。今回は、月全体が地球の本影に入る「皆既月食」です。その時、満月が明るさを失い、赤暗い(よく赤銅色と表現されます)満月に変わってしまいます。



月食の見え方

今回は下の図のように見えます。月の出が午後4時52分、月食が始まるのが午後6時9分です。この時高さは13度ありますので、最初から月の欠けていくのを見ることが出来ます。食が進み、地球の影に完全に入る皆既が始まるのが午後7時16分、皆既の終了が午後8時42分です。2021年5月にあった皆既月食の皆既時間はわずか15分でしたが、今回は1時間26分あります。また、この間は満天の星を見ることが出来ます。そして、午後9時49分に月食は終わります。

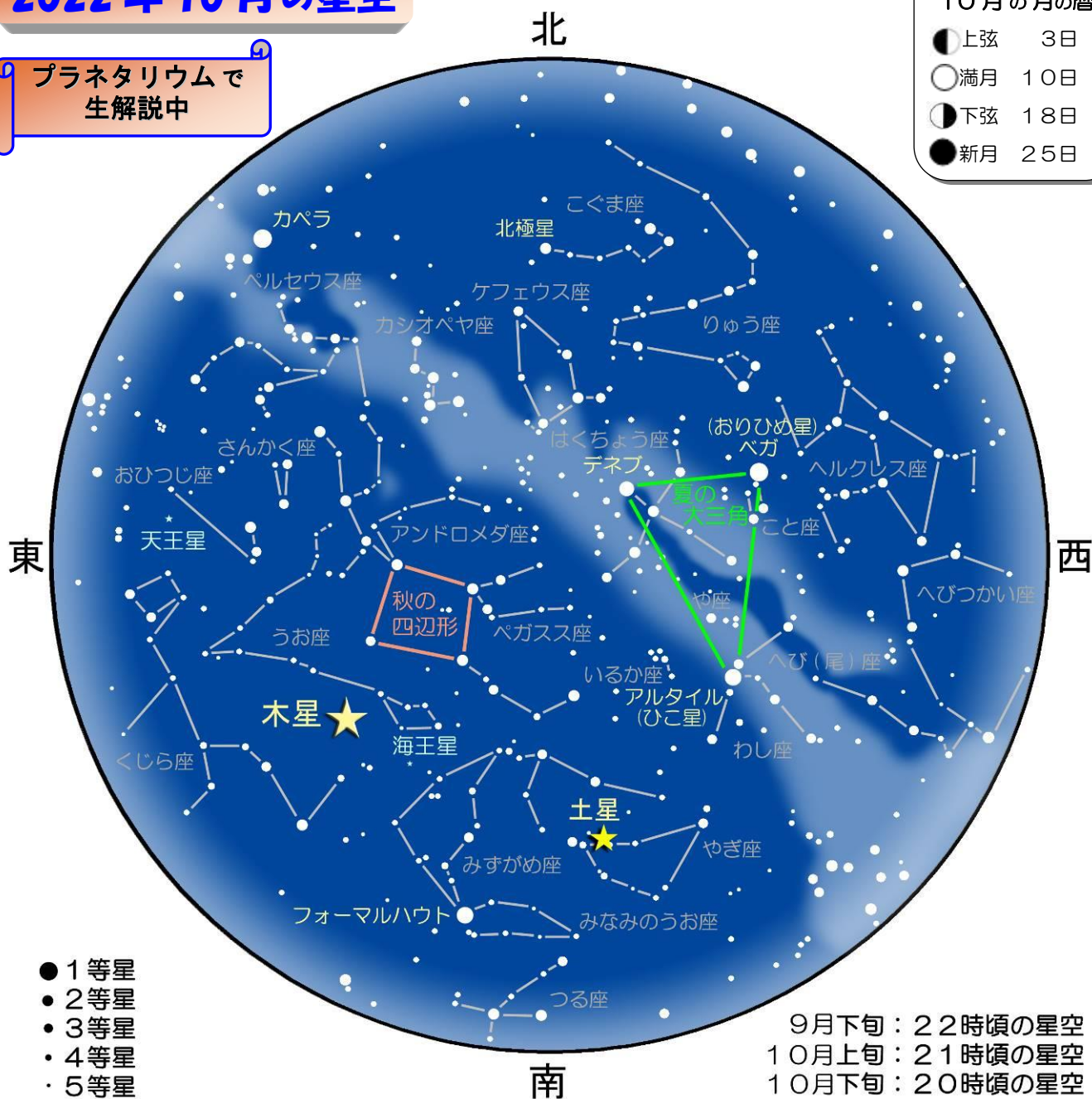


2022年10月の星空

10月の月の暦

- 上弦 3日
- 満月 10日
- ◐ 下弦 18日
- 新月 25日

プラネタリウムで
生解説中



- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星
- 5等星

9月下旬：22時頃の星空
10月上旬：21時頃の星空
10月下旬：20時頃の星空

☆10月になると日没が早くなり、星空を楽しむ時間が長くなります。気温もぐっと下がりますので、温かい服装で秋の夜長を楽しみましょう。

☆明るい星が少なく普段は寂しい秋の星空ですが、「木星」「土星」と二つの明るい惑星があってにぎやかです。特に木星はマイナス2等級で飛び切り明るいので、よく目立ちます。秋の星空でただ一つの1等星「フォーマルハウト」と合わせて見つけてみましょう。

☆「夏の大三角」が西の空に見えます。月明かりがないころは天の川の目印にもなります。夏の大三角は3つの星すべて1等星ですが、「秋の四辺形」は2等星と3等星で少し見つけにくいかもしれません。



さじアストロパーク

検索

プラネタリウムや観察会の時間、休館日、宿泊の予約など詳しい情報についてはホームページ&Facebookでチェック。Youtubeも開設。

鳥取市さじアストロパーク

〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1
TEL 0858-89-1011 FAX 0858-88-0103
<http://blog.zige.jp/saji-astro/>
e-mail sj-astro@city.tottori.lg.jp